



Ethiopia

平和再構築





The “Non-Violence” (or “Knotted Gun”) sculpture by Swedish artist Carl Fredrik Reuterswärd on display at the UN Visitors’ Plaza.
Credit: UN Photo/Mark Garten

タイムライン

敵対行為停止協定（COHA）は、エチオピア連邦民主共和国政府とティグライ人民解放戦線（TPLF）の間で、南アフリカのプレトリアで署名されました。



ケニア、ナイロビにおけるCOHA実施の手段に関する上級指揮官による宣言

2022年11月2日

2022年11月

2022年11年12日

国家復興委員会（NRC）は、国内の元戦闘員の動員解除及び社会復帰を支援するために、2年間の期間で設立されました。

2022年12月1日

TPLFのDDRを監督するために結成された共同委員会は、シレ町で会合し、ティグライ地域の軽量兵器の武装解除のための包括的な実施計画を策定するための作業を行いました。

より広範な国連の平和支援プログラムの一環として、NRCに技術的及び専門的な助言による支援を提供開始

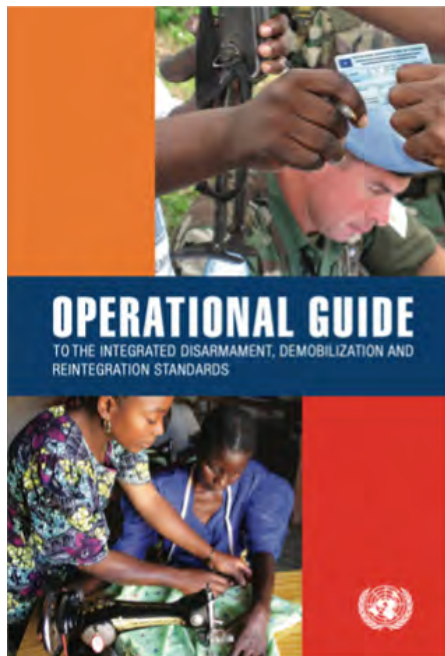
2023年2月

エチオピアにおけるDDR活動の概況

プロジェクト名	NDRP
対象者	371,971人の元戦闘員*
地域	アフアール、アムハラ、ベニシャンゲル、ガンベラ、オロミア、南部諸民族州、南西エチオピア諸民族州、ティグライ
期間	2023年3月 – 2026年12月
パートナーシップ	国家復興委員会 平和省 防衛省 財務省 保健省 教育省 労働・公共事業省 女性・社会問題省
予算	849,053,102米ドル
支援機関	UNDPが他の国連機関やNGO/CSOに対する技術的コーディネーション及び基金の管理を担う

*Source: NRC latest estimate

国家動員解除・社会復帰プログラム(NDRP)は、 国連の国際的なDDR基準に準拠



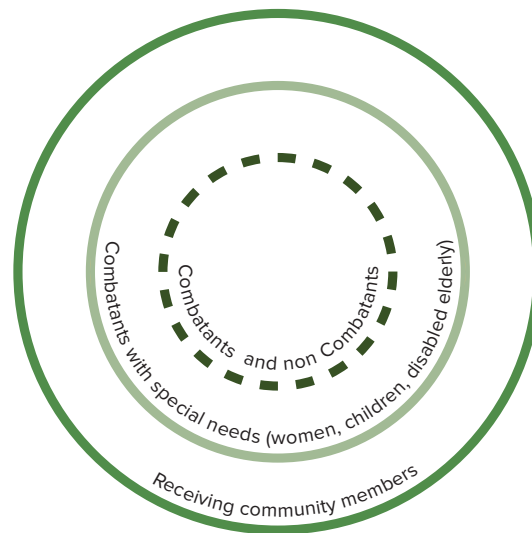
NDRPの指導原則




- 国内および地域を主体とする
- 人々を中心に
- ジェンダーへの配慮、包括的
- 紛争配慮、正しいリスク管理、Do not harm原則
- 柔軟、説明責任、透明性
- 更なる効果を発揮するための統合
- 計画、評価、デザイン、モニタリング、および評価

DDRとは

DDRは、武装勢力やグループのメンバーが武器を置き、民間の生活に戻るための支援を受けるプロセスです。武力紛争が活発な国やそれから脱却しようとしている国では、DDRは平和プロセス、政治的および社会的和解、および長期的な発展が根付くための安全と安定を築くのに貢献します。¹

DDRのターゲット



-  Primary target group receiving individualized support
-  Specific target group individual support + customised support
-  Supported through the UNDP peace support programme

1. UN, 2019, Integrated Disarmament, Demobilization and Reintegration Standards (IDDRS)

武装解除(Disarmament)

武装解除は、戦闘員の小火器、弾薬、爆発物、軽重武器の収集、文書化、管理、および処分を指し、多くの場合、民間人の武器も含まれます。武装解除には、責任ある武器管理プログラムの開発も含まれます。²

動員解除(Demobilization)

動員解除は、武装勢力や他の武装グループの現役の戦闘員を正式かつ管理された方法で解放することを指します。動員解除の第一段階は、一時的なセンターとして指定されたキャンプ（駐屯地、野営地、終結地、または兵舎）に集められた個々の戦闘員に対する手続きから始まります。動員解除の第二段階では、動員解除された者に提供される支援パッケージを含み、これを「社会復帰移行(Reinsertion)」と呼びます。³



元戦闘員ら

2. UN, 2006, *Integrated Disarmament, Demobilisation and Reintegration Standards*

3. *ibid*

社会復帰移行(Reinsertion)

社会復帰移行は、動員解除された元戦闘員に提供される支援であり、より長期的な社会復帰プロセスに先立つものです。社会復帰移行は、元戦闘員とその家族の基本的なニーズを満たすための過渡的な支援の形であり、過渡的な安全手当、食料、衣服、住居、医療サービス、短期教育、訓練、雇用、および道具の提供を含みます。社会復帰は、長期的で継続的な社会経済的な発展のプロセスであるのに対し、社会復帰移行は短期的な物資のおよび/または金銭的な支援であり、直接的なニーズを満たすためのもので、最大で1年間続きます。⁴



Ex combatants in Tigray region

4. ibid

社会復帰(Reintegration)

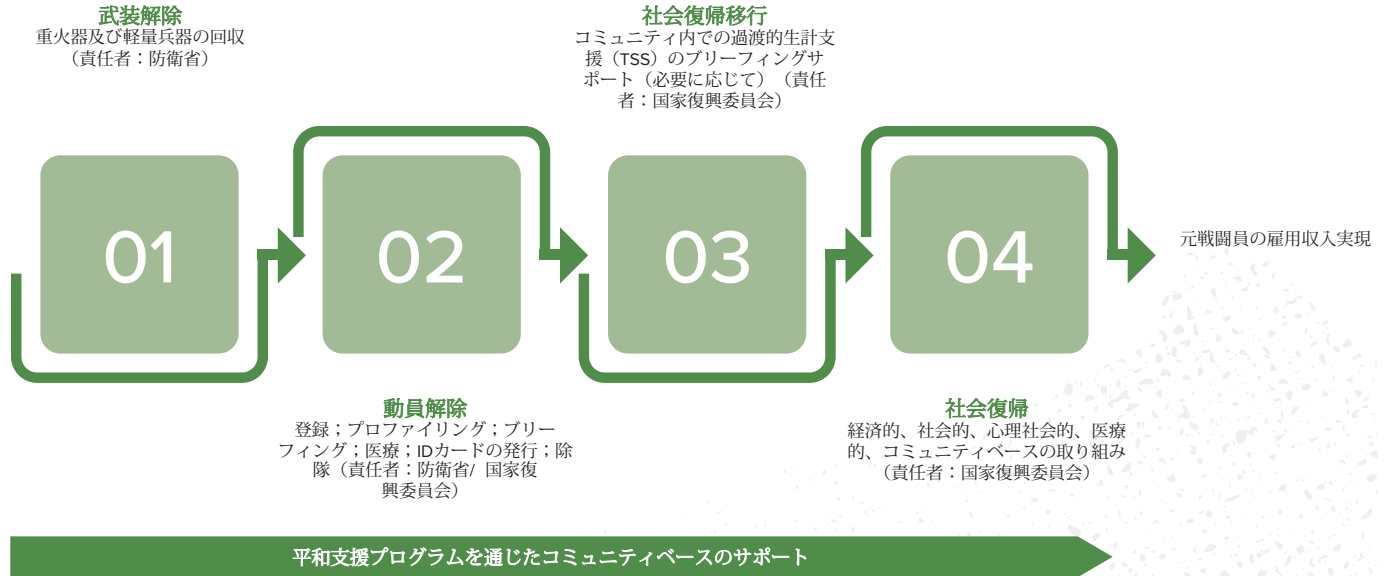
社会復帰は、元戦闘員が市民のステータスを取得し、持続可能な雇用と収入を得るプロセスです。これは基本的には無期限の社会経済的なプロセスであり、主に地域レベルのコミュニティで行われます。これは国の通常の開発の一部であり、国の責任であり、しばしば長期的な外部支援を必要とします。⁵



Ex combatants in Benishangul-Gumuz

5. ibid

DDRのプロセスとフレームワーク



コミュニティベースの 社会復帰プロセス



戦闘員と非戦闘員



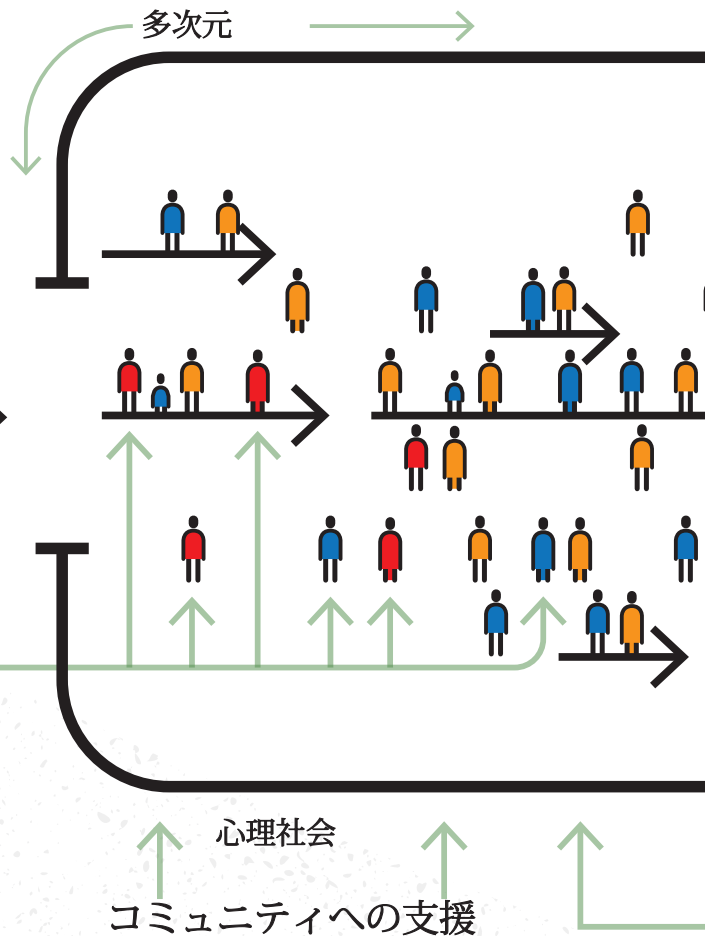
特別なニーズを持つ戦闘員（女性、子供、障害者、高齢者）



受け入れるコミュニティのメンバー

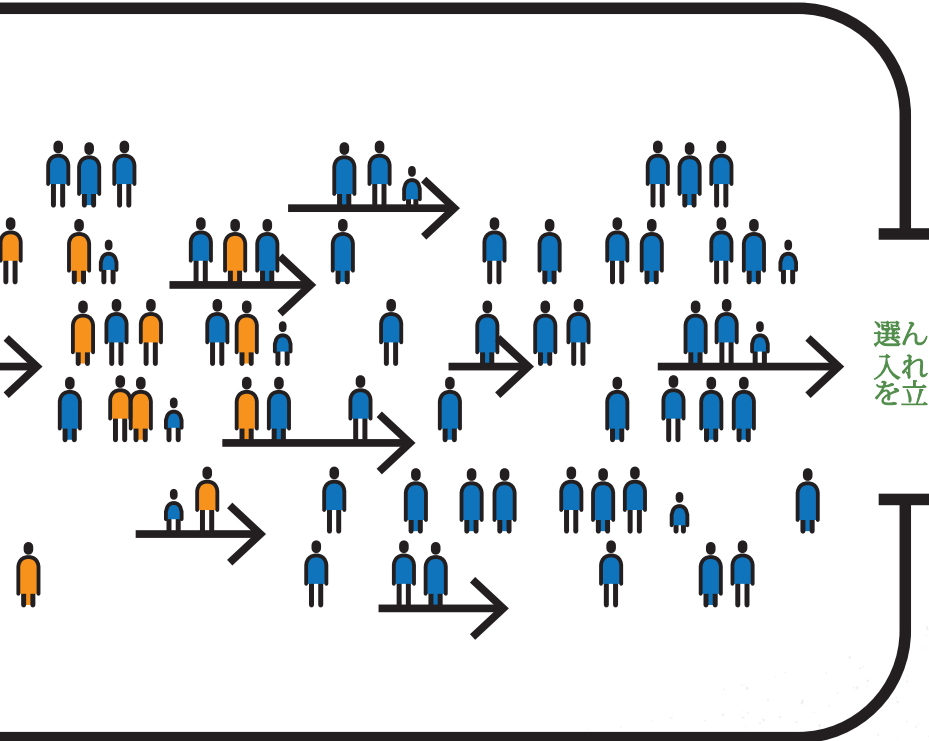


メンバーは武装勢力やグループとの関係を断つ



社会

安全保障



選んだコミュニティで安全に生活し、受け入れられる；コミュニティに参加し、生計を立てる

- コミュニティ主導
- ジェンダー平等かつ年齢への配慮
- 紛争考慮
- 資源の透明な使用
- 地域の能力強化
- コミュニティ自体が計画、実施、監視、評価を行うことを可能にする
- 和解、正義、安全を促進

政治

安全保障

SDGsへの貢献:





www.undp.org/ethiopia



@UNDPethiopia



UNDPinEthiopia